

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪精神医療センター

Osaka Psychiatric
Medical Center



2023
issue

Osaka Psychiatric Medical Center

Mental Health for All

すべての人に心の健康を

- 大阪精神医療センターは、大阪府の基幹精神科病院として、高度な専門的知識、技術をもとに、患者さまの権利を尊重し一人ひとりの人生を大切にしたい、心のこもった質の高い医療サービスを実現します。
- 大阪府の基幹病院として、精神医療のセンター機能を果たします。
- 患者さまの権利を尊重し、安心と信頼を与える質の高い医療を行います。
- 他の医療機関との連携を強め、地域医療の向上に貢献します。
- 社会復帰と自立を支えるための基盤整備に努めます。
- 安定した経営基盤の確立に努め、良好な医療サービスを提供します。
- 地域に親しまれる病院を目指します。
- 社会に開かれた医療を行います。

特徴

臨床

人材
育成

研究

診療科名

精神科
児童思春期精神科

許可病床数

473床

「最前線の臨床現場で、
最先端の精神医療を」の
「こころざし」で信頼される
質の高い精神医療を提供します。



院長 岩田 和彦

大阪精神医療センターは、1926年（大正15年）に開院した90年以上の歴史を有する精神科医療機関です。

大阪府の基幹精神科病院として、統合失調症、躁うつ病、児童思春期精神疾患、依存症、認知症をはじめとする老年期精神疾患など、さまざまなこころの病の診療に取り組んでいます。多職種チーム医療を展開し、急性期から社会復帰まで切れ目のない治療・支援を提供する診療体制を有しています。

精神科専門スタッフの教育・研修にも力を注いでおり、人材育成を通じて医療水準の向上にも貢献しています。2020年には「こころの科学リサーチセンター」を開設、精神医学に関わるさまざまなレベルの医学研究を遂行し、精神医学の発展に寄与してまいります。

時代や社会のニーズに合致した質の高い精神医療の提供に向け、職員一同努力を重ねてまいりますので、一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



許可・承認等

精神科緊急病院指定病院
応急入院指定病院
特定診療災害医療センター
大阪府災害拠点精神科病院
医療観察法指定入院医療機関・通院医療機関
依存症治療拠点機関
臨床研修指定病院

(一社)日本専門医機構
精神科専門研修プログラム基幹研修施設
(公社)日本精神神経学会
精神科専門医制度研修施設
(一社)日本精神科看護協会指定実習施設
日本医療機能評価機構認定病院

他

一人ひとりを尊重し、 心のこもった医療の提供のために

大阪精神医療センターは、大阪府の基幹精神科病院として、高度な専門的知識、技術をもとに、患者さまの権利を尊重し、一人ひとりの人生を大切にしたい、心のこもった質の高い医療サービスを実現します。

外来診療

精神科の幅広い領域にわたって、患者さまの症状に応じた診療治療を行います。
また、退院患者さまのアフターケアを外来診療、訪問看護、デイケアなどで実施しています。

統合失調症、うつ病、依存症など、幅広い精神科医療を提供しています。

精神科外来

※初診、再診ともに予約制

診療受付方法	初診予約を希望される方は、代表番号へお電話をおかけください。電話交換につながりますので、「初診予約」である旨をお伝えください。 電話番号：072-847-3261(代表) (平日10:30～15:00)
再診受付方法	診察予約を変更される方は、「診察予約変更専用窓口電話番号(直通)」へお電話をおかけください。 電話番号：072-847-3231(直通) (平日8:30～17:00)
診療時間	9:00～17:15
休診日	土曜日・日曜日・祝日・12月29日～1月3日



児童思春期精神科外来

紹介予約制

初診は就学前および小中学生の方、高校生以上は入院をご希望の方で不登校、発達障がい、適応障がい、不安障がい、感情病態、その他精神病態などの患者さまが対象です。

デイケア・作業療法・ 訪問看護



デイケア

精神科デイケアとは、昼間通所治療といい、医師の指示と指導のもと、昼間の一定時間をプログラムに沿って楽しみながら仲間やスタッフとともに、社会復帰・社会参加を目指しています。6時間のデイケア、3時間のショートケアがあります。

作業療法

作業療法では、私たちが普段の暮らしの中で行っている動作や遊び、仕事など、生活の全般にわたるさまざまな活動を「作業」と呼びます。これらの作業を用いて病気からの回復を促し、その人らしくより良い生活が送れるよう援助していきます。医師の指示に基づき、作業療法士が患者さまの症状に応じた多様な治療を実施しています。

訪問看護

病院を退院された後、あるいは外来通院されている方が安心して治療を継続しながら快適な生活を送ることができるよう、看護師・ソーシャルワーカー・作業療法士などがご自宅に伺って、日常生活への支援を行っています。



入院治療

当センターでは、患者さまが安心して治療に専念し、1日でも早く退院できるようスタッフ全員でサポートさせていただきます。患者さまの退院と社会復帰を促進するため、精神療法、薬物療法のほか、作業療法や社会技能訓練などの心理社会的治療を取り入れています。医師、看護師をはじめ、ソーシャルワーカー、心理士、作業療法士など、多職種により支援しています。

成人棟



救急、高度ケア、総合治療といったさまざまな機能を備えた病棟を配置しています。特に、修正型電気けいれん療法(m-ECT)やクロザリルによる治療など病状に応じた積極的な治療を行い、早期の退院に向けて医療を提供しています。各病棟機能は次のとおりです。

4階	西4(総合治療病棟:50床)	東4(高度ケア病棟:50床)
3階	西3(高度ケア病棟:50床)	東3(総合治療病棟:50床)
2階	西2(高度ケア病棟:50床)	東2(救急病棟:38床)
1階	西1(高度ケア病棟:50床)	東1(救急病棟:40床)

児童思春期棟は「みどりの森」と呼び、幼児から18歳未満のさまざまなこころの問題で医療を必要とする子どもたちや家族を対象に、外来・入院治療等を行っています。成人棟から独立した構造となっており、明るく柔らかな雰囲気を持たせるとともに、年齢に応じた内装を工夫しています。1階の児童ゾーンを「たんぼぼ」、思春期ゾーンを「ひまわり」と呼んでいます。2階には「サンシャイン」と呼ぶ諸室を設け、快適な空間づくりを目指しています。敷地内に大阪府立刀根山支援学校分教室が設けられ、学校教育との連携を行っています。また、「たんぼぼ」は、児童福祉法による医療型障害児入所施設としても位置付けられています。

児童思春期棟 みどりの森

50床



医療観察法 さくら病棟

33床



「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(平成17年施行)に基づく指定入院医療機関であり、独立した構造となっています。医師、看護師、ソーシャルワーカー、心理士、作業療法士といった多職種により、患者さまへの継続的かつ適切な医療、観察及び指導を行い、患者さまの病状の改善および同様の行為の再発防止を図り、社会復帰を目指しています。

人材育成

精神科医療を必要とする人が、安心して必要な時に必要なところで必要な医療を受けられるためには、精神科医療や精神科医学研究に携わる専門職の育成が不可欠であり、人材育成は当センターの重要な役割の一つです。当センターでは大阪府の基幹精神科病院として、精神科の専門分野で即戦力となる医師および看護師や作業療法士などの医療技術者の人材育成に努めています。

大阪精神医療センター 精神科専門医研修プログラム

「目指すのは精神医学の総合医」を合言葉に、幅広い臨床経験に加え、臨床医学研究や精神保健福祉政策も経験できる専門医研修プログラムを実施しています

基幹研修施設



大阪精神医療センター

(連携施設は2022年5月現在)

連携施設

京都大学

大阪大学

大阪府こころの健康総合センター

大阪国際がんセンター

市立ひらかた病院

大阪母子医療センター

東京都立松沢病院

Point 1

専門医制度(日本専門医機構)においては、精神科領域における府内の数少ない基幹施設として大学病院などと連携し、臨床だけでなく精神保健福祉政策も経験できる充実した専門研修を実施しています。また、初期臨床研修指定病院(連携型)として、さらには児童思春期精神科を志す小児科医師などの独自の研修制度を設け、専門医の養成に努めています。

Point 2

保健所や子ども家庭センターなどの行政機関、医療機関の職員を対象とした、依存症や児童思春期精神科などの専門的な研修を開催し、各関係機関の対応力の向上を目指しています。

Point 3

看護師をはじめ医療技術者養成機関から学生の臨地実習の受け入れや研修会の実施、講師派遣などにより、即戦力となる人材の育成に努めています。

地域との連携

地域の医療機関などと連携し、当センターで入院治療が必要な方を受け入れ、適切な医療・生活支援などの提供を行っています。
また、地域で生活が可能となった方が地域で安心して生活できるよう、通院する医療機関や訪問看護等関係機関と連携し地域での生活を支援していきます。



Point 1

当センターでの入院や治療が必要な方を、地域の医療機関などからの紹介により、外来・入院治療がスムーズに行える体制を整えています。

Point 2

当センターに入院されていた方が、地域に戻って暮らしていけるよう、訪問看護やデイケアなどを含め、地域の医療機関と連携し地域移行がスムーズに行える体制を整えています。

Point 3

地域の医療機関の方を対象として、精神科医療にかかる研修会、症例検討会などを通じて、地域の精神科医療の対応力向上に努めています。

こころの科学 リサーチセンター

OPRC Osaka Psychiatric Research Center

こころの科学リサーチセンターは、精神医学・神経科学の“橋渡し研究”を推進する2つの部門から構成されています。各部門ではその時代でもっとも解決が望まれるテーマの研究を進めており、現在は**認知症**と**依存症**の研究に取り組んでいます。こうしたこころの問題について、研究・医療機関・地域をつなぐ多角的な研究を実施しています。

T1 診断・治療創生部門

Development of Novel Diagnosis and Treatment Division

T1-1認知症ユニット

- 早期診断のための認知症の血液バイオマーカー探索
- 人体への負担が少ない脳機能の活性化法の開発

T1-2認知症ユニット

- 早期診断のための認知症の血液バイオマーカー探索
- 視線測定(アイトラッキング法)を用いた認知機能障害の簡便なスクリーニング評価法の開発

T2-2依存症ユニット

- 依存症の予防や治療をめざした脳内メカニズムの解析
- 血液の微量成分を用いた依存症の定量的診断技術の開発

T2 臨床・社会医学研究部門

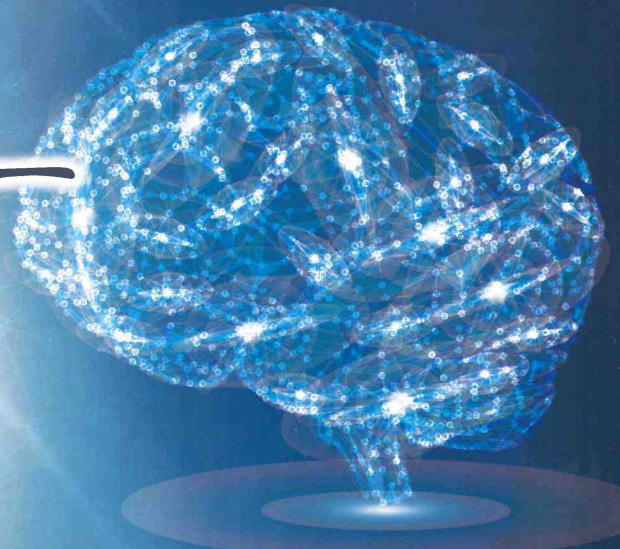
Clinical and Public Health Research Division

T2-1認知症ユニット

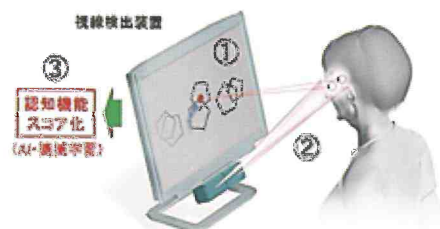
- 軽度認知機能障害を持つの方の自己肯定感・QOLの回復に有効な介入方法の検討
- AIロボットなどを活用した自宅で行える認知症予防プログラムの開発

T2-2依存症ユニット

- 依存症の治療や回復を助けるデジタルセラピー(スマートフォン・アプリなど)の開発と有効性の検討



視線検出技術を利用した簡易認知機能評価法の開発



視線解析による認知機能障害のデジタルバイオマーカー

Oyama, Takeda et al. Scientific Reports 2019





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪精神医療センター

〒573-0022 大阪府枚方市宮之阪3-16-21

☎072-847-3261 fax072-840-6206

大阪精神医療センター  <https://pmc.opho.jp/>

